
福祉社会学会ニュースレター 第 65 号

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.65

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: maf-ws@mynavi.jp

目次

- * 第 19 回大会の自由報告の申し込みと予稿原稿の提出について
- * 第 19 回大会テーマセッションの申し込みと予稿原稿の提出について
- * 第 19 回大会の情報サポートと障害による配慮について
- * 福祉社会学会第 19 回大会の参加方法について
- * 現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方に
- * 「第 7 回震災問題研究交流会」開催のお知らせ

* 第 19 回大会の自由報告の申し込みと予稿原稿の提出について

福祉社会学会第 19 回大会が 2021 年 6 月 19 日(土)・20 日(日)に、オンライン(ZOOM)にて開催されます。大会での自由報告の申し込みについてお知らせします。

自由報告の報告時間は 1 人 30 分を持ち時間とし、20 分発表、10 分討論を標準としますが、申込み数によって調整をお願いすることもあります。

自由報告を希望される方は電子メールで、以下の報告申込書と予稿集原稿のファイルの両方を添付して、2021 年 4 月 16 日(金)までに以下のアドレスまでお申し込みください。

fukushakai9research★googlegroups.com(←★を@に変えてください)

報告申込書: 下記の URL にて、申込要領をご確認のうえ、申込書の Word ファイルをダウンロードして、必要事項をご記入の上、ファイルにて提出してください。

http://www.jws-assoc.jp/taikai/doc/19th_callforpaper.doc

予稿集原稿: 下記の URL にて「予稿イメージ図」をダウンロードの上、所定の書式にしたがって Word ファイルにて作成してください。A4 版×2 枚の分量です。申込書とともにファイルにて提出してください。

http://www.jws-assoc.jp/taikai/doc/19th_yokou-image.doc

*第19回大会テーマセッションの申し込みと予稿原稿の提出について

今回は公募型テーマセッション、拡大セッションの申し込みはありませんでした。
報告者を公募しない、会員による自主企画セッションについては、上記の自由報告の Word ファイルにて、
テーマと部会趣旨(予稿集にそのまま掲載されます)、各報告の報告申込書と予稿集原稿を 2021 年 4 月
16 日(金)までに提出してください。

*第19回大会の情報サポートと障害による配慮について

第19回大会の全体会(総会・学会長講演・大会シンポジウム)には文字キャプションが付く予定です。
また、zoom の字幕機能にて各報告の文字キャプションには対応しております。
その他の情報保障や障害による配慮をご希望の方は [fukushakai9research★googlegroups.com](mailto:fukushakai9research@googlegroups.com)
(研究委員会)までお早めにご相談ください。

*福祉社会学会第19回大会の参加方法について

大会の約2週間前に、ZOOM の会議のリンクのお知らせを、この ML にお送りいたしますので、ML の見逃し
がないようお気をつけください。ホームページには、セキュリティの観点から掲載いたしませんので、もし、ML
が届いていない等の問題がありましたら、研究委員会までご連絡ください。

大会は、会員の皆さまは無料でご参加いただけます。また、会員の皆さまが直接にご紹介する方に限り、無
料でご参加いただくことが可能です。

*現在、非会員で大会報告申し込みをお考えの方に

次回の本学会への入会承認は 6 月大会時に開催予定の理事会となりますが、現在非会員で大会報告申
込をお考えの方も、以下の手続きによって御報告(自由報告、テーマセッション報告)いただくことが可能です
(共同報告で、現在非会員の方が含まれる場合も同様です)。

(1) 報告は会員であることが条件となりますので、4月16日(金)必着で福祉社会学会事務局(〒113-0033
東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院人文社会系研究科 金成垣研究室)あてに入会申込書を御郵
送下さい。その際、「大会報告希望」であることを明記してください。

(2)同時に、大会報告申込み、申込要領に従って4月16日(金)までに研究委員会あてに電子メールで申し込んでください。その際、「事務局に入会申込書送付済」と明記してください。

(3)庶務理事と理事会幹事会で入会申込書を確認したうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で追加の確認事項や調整などが必要になった場合は、庶務理事より連絡を取らせていただきます。

(4)同じく4月16日(金)提出締切の予稿集原稿を御用意いただき、研究委員会あてに電子メールでお送りください。

9月締切予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿には6月大会時の理事会での入会承認が必要となりますので、現在非会員で投稿を御希望の方はお間違いのないようお願いいたします。

*「第7回震災問題研究交流会」開催のお知らせ

(開催日時:2021年3月19日~20日)

日本社会学会防災学術連携体担当

震災問題研究ネットワーク代表 浦野正樹(早稲田大学)

震災問題研究交流会を、今年度、下記のとおり開催いたします。この交流会は、日本社会学会の研究活動委員会を中心に設けられた震災情報連絡会から発展したものです。現在は、日本社会学会理事会に防災学術連携体担当を置いておりますので、そこと震災問題研究ネットワークとの連携というかたちで開催いたします。今年度も、幅広い分野からの参加を歓迎いたします。

近年は、東日本大震災に限らず、昨今の甚大な風水害などの災害の発生を念頭におきながら、災害と社会との関わりや影響を含めて幅広い研究交流が出来ればという思いから、災害事象全般に関する報告を受け付けて、研究交流会を開催しております。今年度の交流会では、ランチョンセッションとして「災害女性学をつくる」をおき、「被災地支援/災害ケースマネジメント」「原発災害・津波災害の長期的影響」「過去~未来の対話」をテーマとし、復興の枠組みと理解をめぐる」と題する計4セッションを設けました。発表者のみならず、参加して一緒に討論していただける方、社会学者と一緒に議論してみたい他分野の研究者、行政担当者、マスコミ関係者、災害研究に関心をお持ちの方にも参加していただきたいと思っています。

※昨年までの研究交流会プログラムなどの情報、及び昨年度までの交流会報告書については、次のリンク先からご覧いただけます。

<https://greatearthquakeresearchnet.jimdo.com/>

なお、本交流会では、研究発表を募集して最新の研究動向を共有する時間を確保するとともに、今後の震災研究に関連する討論の時間もなるべく確保するため2日間の日程といたします。

形式は、昨今の状況を鑑み、Zoomを用いた遠隔リアルタイム研究会として実施します。

初日の3月 19 日(金)は上記に示した一般報告と書評セッションを中心にした研究報告会を行い、二日目の3月 20 日(土)は現在進めている科研費プロジェクトの公開ワークショップなどの企画報告・検討会というかたちを取りたいと思います。

開催日時:2021 年 3 月 19 日(金)9:30~18:00

3 月 20 日(土) 10:00~18:00 予定

形式:Zoom による遠隔リアルタイム研究会

*プログラムの詳細は、下記の震災問題研究ネットワークのウェブサイトに掲載します。

(<https://greatearthquakeresearchnet.jimdo.com/>)

*震災問題研究交流会についての問い合わせ先:震災問題研究交流会事務局

(office150315dcworkshop@gmail.com)

【編集・発行】福祉社会学会事務局